

本件は、大阪府政記者会、大阪市政記者クラブ、吹田日刊記者クラブに同時資料提供を行います。

報道関係各位

生きているミュージアム NIFREL

## 《生きもので夏にふれる》『夏の魚・トビウオ』の赤ちゃん展示開始 本日8月20日(金)から29日(日)までの10日間限定です



大阪府吹田市「EXPOCITY」の生きているミュージアム「NIFREL(ニフレル)」では、館内1階「わぎにふれる」ゾーンにて、トビウオの赤ちゃん(全長約2~3cm、3匹)を、2021年8月20日(金)から29日(日)までの10日間限定で展示開始しました。蝶や飛行機のような不思議な姿を、上から横からもご覧いただけます。

トビウオは、胸ビレを翼のように大きく広げ、水面上をまるでグライダーのように飛ぶことで知られています。初夏から秋にかけて日本の沿岸にやってくることから、夏を代表する魚とも言われています。

トビウオの赤ちゃんは、普段は沖合の流れ藻などに隠れて暮らしていますが、海が荒れた後に岸壁近くに流れ着いて水面を泳ぐ様子が見られます。採集できる季節や条件が限られており、さらに体が傷つきやすくデリケートなことから、長期間の飼育展示が難しい魚で、その姿を見る機会も多くありません。

ニフレルでは、2018年より毎年夏休みの時期にトビウオの赤ちゃんを展示しており、今回で4回目となります。



### 【本件に関するお問い合わせ先】

お問合せ：NIFREL(ニフレル) PR・広報担当 田井、西前  
TEL: 06-6876-2204 FAX: 06-6876-2235 MAIL: nifrel.pr@nifrel.jp

## 【トビウオの赤ちゃんの展示について】



《展示期間》2021年8月20日(金)～29日(日)

《展示場所》1階「わざにふれる」ゾーン

《展示数》3匹

《お問い合わせ》ニフレルインフォメーション TEL:0570-022060(ナビダイヤル)

※生きものの状況により予告なく展示を変更または中止をする場合があります。

## 《生きているミュージアム『NIFREL』施設概要》

名 称 NIFREL (ニフレル) (館長:小畑 洋)

運 営 会 社 株式会社海遊館 (本社:大阪市港区、社長:三輪 年)

所 在 地 吹田市千里万博公園 2-1 EXPOCITY 内ニフレル

営 業 時 間 10:00～18:00(最終入館は閉館の1時間前)

※状況により変更する場合があります。

休 館 日 年中無休。※年に1回設備点検のための臨時休館日あります。

施 設 内 容 8つのゾーン【いろにふれる、わざにふれる、およぎにふれる、WONDER MOMENTS、かくれるにふれる、みずべにふれる、うごきにふれる、つながりにふれる (生きもの約150種・約2000点)】

ピクニックカフェ「EAT EAT EAT」(200㎡・112席)、ミュージアムショップ「NIFREL×NIFREL」

入 館 料 金 大人(16歳以上)・高校生2,000円、小・中学生1,000円、幼児(3歳以上)600円

交 通 大阪モノレール「万博記念公園駅」徒歩2分

駐 車 場 約4,100台(EXPOCITY全体用駐車場)

構 造 規 模 S造(一部SRC造、RC造)3階建

建 築 面 積 約3,500㎡(約1,060坪)

延 床 面 積 約7,200㎡(約2,180坪)

※ 公式ホームページ

<https://www.nifrel.jp>

※ ツイッター

[https://twitter.com/nifrel\\_official](https://twitter.com/nifrel_official)

※ Facebook

<https://www.facebook.com/nifrel.jp>

※ インスタグラム

[https://www.instagram.com/NIFREL\\_OFFICIAL](https://www.instagram.com/NIFREL_OFFICIAL)